

2020年4月17日

各位

## サウジアラビアにおけるENB製造装置新設検討について

当社（社長：大田 勝幸）は、サウジアラビアにおいてENB<sup>※1</sup>製造装置新設の事業化可能性調査（フィージビリティスタディ（FS））を開始しましたので、お知らせいたします。

ENBは、自動車の窓枠やラジエターホースなどに使用される合成ゴム（EPDM<sup>※2</sup>）の製造に欠かせない成分であり、中長期的に見込まれる世界的な自動車生産の増加に伴い、同成分の需要も堅調に拡大すると見込まれています。

当社グループは1979年の日本での生産開始以来、日米にて生産体制を拡大してきており、現在日本に1系列、米国に2系列の製造拠点で世界最大となる68千ト/年の生産能力を有し、北米・欧州・アジアのタンクターミナルから成る供給ネットワークを通じて、世界で事業展開しております。

今般FSを開始したサウジアラビアでは、Saudi Arabian Oil CompanyとTotal Raffinage Chimieが出資するAMIRALプロジェクト<sup>※3</sup>の原料供給を背景に、継続的な成長が見込まれるENB需要に対する生産体制の構築が可能となります。当社は、日米に次ぐ第3の拠点として、同地の既存顧客はもとより、世界の全顧客へ向けた供給体制を盤石とするために、ENB製造装置新設の検討を開始しました。

当社は、2040年JXTGグループ長期ビジョンに掲げる、付加価値の高い誘導品事業への進出・海外展開等を通じて、お客様の多様なニーズに対応し、アジアを代表するエネルギー・素材企業を目指します。

※1 エチリデン・ノルボルネン。EPDM（下記※2参照）の製造に欠かせない成分。

※2 エチレン・プロピレン・ジエン・メチレンリンケージ。耐熱性、耐候性に優れた合成ゴムで、自動車用、工業用、建築用など、広く使用されており、自動車用が70%程度を占める。エチレン、プロピレンにENBなどの第3成分を添加して合成する。

※3 2025年に操業開始を予定している、クラッカーの新設プロジェクト。



## とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

<参考>

1. FSの前提となるENB製造装置新設計画の概要

建設予定地	サウジアラビア アルジュベイル
生産能力	年産23千トン
商業運転開始	2020年代後半
原料供給者	AMIRALプロジェクト (Saudi Arabian Oil Company , Total Raffinage Chemie S.A )

2. ENB製造装置の生産能力の推移

1979年4月	茨城県鹿島郡（現神栖市）において、ENB第1製造装置を新設し、生産を開始（※1997年に20千トン／年の生産体制を構築）
2003年5月	米国テキサス州ヒューストンにおいて、ENB第2製造装置（生産能力20千トン／年）を新設し生産を開始
2007年7月	米国テキサス州ヒューストンにおいて、ENB第3製造装置（生産能力20千トン／年）を新設し生産を開始
2015年9月	日本の生産能力を22千トン／年に増強（+2千トン／年）
2020年	米国の生産能力を40千トン／年から46千トン／年に増強 ⇒ 日米合計68千トン／年の生産体制

3. ENB製造装置の概要

装置名	第1製造装置	第2製造装置	第3製造装置	
所在地	茨城県神栖市	米国テキサス州ヒューストン		日米合計
操業開始	1979年4月	2003年5月	2007年7月	
生産能力	22千トン／年	23千トン／年	23千トン／年	68千トン／年

※上記装置はすべて三洋化成工業株式会社との合併

以上

**JXTGは、社名もENEOSへ!**

※ 2020年6月に開催予定の定時株主総会で定款変更が承認されることを条件に、同日日付で変更いたします。



とどけ! 熱いエネルギー **ENEOS**